

## 茨城大学人文社会科学部 管理会計論ゼミナール 2019 年度夏合宿 終了報告書

担当教員：細田 雅洋

日時：2019 年 9 月 28 日～29 日

場所：源泉遺産 那須塩原別邸（〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原 1115-2）

参加者：3 年生 5 名（1 名は体調不良により欠席）

### I. 個人研究報告（9 月 28 日）

宿泊先にて、5 名の学生により卒業論文執筆に向けた研究計画書にもとづくプレゼンテーションと質疑応答、ディスカッションが行われた（一人当たり 30 分）。それぞれのタイトルは以下の通りである。

- ・ BSC 導入による戦略の伝達・共有の実態と戦略の共有化がもたらす効果
- ・ プロジェクトにおける予備費計上・執行によるプロジェクトメンバーに対する動機づけ効果に関する事例研究
- ・ コストの下方硬直性を招くマネジャーの意思決定
- ・ 日本のホテル業における USALI の実態の探究
- ・ サービス業における原価企画の研究

報告を通じて、卒業論文執筆に向けた具体的なスケジュールや作業内容が明確となった。今後は各自で先行研究やデータ収集を行い、2020 年 1 月に進捗報告会を行う予定である。



## II. アカウンティングコンペティション参加のための準備（9月28日）

本ゼミナールでは、会計学を専攻している全国の大学・短期大学のゼミナールが参加するアカウンティングコンペティション（毎年12月、日本大学世田谷キャンパスにて開催）への参加を目指している。この合宿では、前期から行ってきたグループごとの活動の進捗を確認し、12月の報告に向けたスケジュールと作業内容を明確にした。各グループのタイトルは以下の通りである。

- ・ プロジェクトにおける予備費計上・執行の手続きの探索
- ・ 財務・非財務指標の観点からみた業績評価スタイルがマネジャーの態度・行動に与える影響

## III. 企業訪問（9月29日）

千本松牧場（ホウライ株式会社）を訪問し、地域資源を活用していかに事業を運営しているか、ということを知った。また、メディアに取り上げられる商品がどのように販売されているのかということを知った。



以上